

地域情報

(社)熊本県野菜振興協会八代支部

イチゴパッケージセンター視察研修を実施

八代地域では、約58haでイチゴが栽培されており、県内第2位のイチゴ産地となっています。しかし、1戸あたりの栽培面積が大きく、雇用も少ないため、労働環境の悪化による将来の担い手不足や経営悪化が懸念されています。そのため、イチゴ生産体制の抜本的な改革が必要となっています。

そこで、JAやつしろいちご専門部会ではイチゴパッケージセンター検討委員会が立ち上がり、現在その設置を検討しているところです。今後の設立の参考とするため、1月17日に、佐賀県と福岡県のパッケージセンターの事例を調査しました。

パッケージセンターを設立することで、パック詰め作業がなくなることによる労力軽減、品質向上、規模拡大、出荷アイテム数の増加などが見込める反面、雇用や手数料などの問題もあることがわかりました。

今後も、慎重にパッケージセンター設立について検討を重ねていきたいと思いをします。

